

仙台城 Now! Vol.16

発行
仙台市教育委員会文化財課
仙台城史跡調査室
令和6年5月31日

🌿 仙台市博物館が再開館しました！ 🌿

仙台市博物館が、令和6年4月2日に再開館しました！博物館では、仙台の歴史や文化について学ぶことができ、仙台城跡の発掘調査で見つかった瓦や陶磁器等も展示されています。今回は、その一部をご紹介します！

ちなみに…

現在博物館が建っているところは、江戸時代の絵図には「蔵屋敷」「御米蔵」「東丸」などと記載されており、藩に納められた年貢米などを貯蔵する蔵が置かれていたと考えられます。



仙台市博物館（位置図）

🌿 仙台城跡の調査 🌿 ～本丸北壁石垣～

仙台城跡では、これまで多くの発掘調査が行われており、かつて本丸にあった大広間や登城路に建てられた門の屋根を飾った瓦、生活を彩った陶磁器が数多く出土しています。

陶磁器では、国内産の織部焼（岐阜県）や波佐見焼（長崎県）など、国内の他地域との交流を示す物だけでなく、外国との交流がうかがえる物も数多く見つかっています。

特に、平成9年度～15年度に行われた本丸北壁石垣修復工事に伴う発掘調査では、中国産の青花や青磁、17世紀のヴェネチア産のガラス器など、“舶来”の物が多く出土しました。その中でも、エナメルで彩色されたガラス器の破片は、国内ではまれな出土例です。これらのガラス器は当時の南蛮貿易もしくは、仙台を訪れた宣教師などの外国使節がもたらしたものと推定されています。

博物館では、こうした発掘調査で見つかった物が多数展示されています。実物を見て、仙台城跡の歴史を学んでみて下さい！



金箔押菊丸瓦



ヨーロッパ産のガラス器

※資料調査等により展示されていない場合があります。



本丸北壁石垣（現在の様子）



本丸北壁石垣（工事中の様子）